



はんた 市議会だより



- 一般質問12人が市政を問う! P.2~6
- 事業評価の対象施策のお知らせ P.7
- 9月定例会審議結果 P.8~9
- 決算認定議案の審査より P.10~11
- 7月臨時会、8月臨時会審議結果 P.12
- 令和2年度一般会計補正予算第9号の「修正案」を可決について P.13
- 第27回議会報告会YouTube配信について P.14

市政を問う

一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、9月1日、2日、3日に行われ、12人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は11月25日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



創造みらい半田 芳金秀展

持続可能なまちづくりに必要な開発目標SDGsの活かし方

問 総合計画に盛り込んだSDGsの各種ゴールを、今後策定される各種計画にどのように落とし込んでいくのか伺います。

答 16程ある各種計画の策定に、指標を紐づけていくようサポートしバックキャストイングによる進捗管理を徹底していくと共に、SDGsを横串に他分野の見識を深め、相乗効果を出していきます。

問 SDGsに取組んでいる企業や団体に対しインセンティブ(誘因効果)を与え、推進を促すことを検討するべきだと考えますがいかがですか。

答 企業の取組みを入札の評価項目にするなど検討していきます。
問 環境基本計画の中でゼロカーボンシティをどのような位置づけでSDGsの目標達成に貢献させるのか伺います。

答 SDGs 13番の目標である「気候変動に対する具体的な対策」と7番の目標「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」に対応させ、取組んでいきます。

第2次環境基本計画に対する方向性

問 再生エネルギーの促進とありますが、公共施設での利用の計画はありますか。

答 企業へ進めていく上でも、公共施設としてメリット、デメリットのバランスを見ながら積極的に進めていきます。

問 自治体新電力など新しい挑戦についてどのように考えますか。

答 自治体新電力に取組むべく、先行する自治体新電力事業者の経営状況などの情報収集に努め、調査・研究を進めていきます。

問 バイオマス産業都市構想は半田市の特色に合致した施策であると思いますが、今後の見解を伺います。

答 自治体として事業者と共に取組めるか検討していきます。

環境基本計画



無所属 鈴木健一

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や対応

問 半田市の感染者の症状の内訳を把握していますか。

答 県の所管事項となり十分な情報が得られない状況です。

問 市民の不安を減らすためにも県に情報の提供を要望するべきではありませんか。

答 半田市としても要望してはきましたが、情報がいただけません。

問 自宅待機している軽症者は何人ですか。

答 公表されていません。公表されません。

問 半田市でPCR検査の体制を作る考えはありますか。

答 現在、感染症法により、都道府県及び保健所設置市が実施することとなっており、半田市が主体となって実施はできません。

問 子どもと高齢者のワクチン接種の状況をおたずねします。

答 昨年のインフルエンザの予防接種では、

65歳以上の方で48・2%、乳幼児期に接種する「麻疹・風しん混合接種」の接種率は98%、学童期に接種する「ジフテリア・破傷風混合接種」の接種率は52・2%となります。

問 これから冬にかけてインフルエンザの流行が見込まれます。ワクチン接種をコロナ対策費として、予算化するべきと考えますがどうですか。

答 全市民に接種できる数のワクチンが確保できないので、高齢者の方を重点的に接種していきたいと考えていますが、予算化する考えはありません。

問 無症状だが、感染している方を見つけるためにも、介護や医療現場で働く方々に対して定期的にPCR検査を行う考えはありますか。

答 県の方針として症状がある方を検査するとなっています。

問 市長として、一歩踏み出して、検査体制をとる考えはありませんか。

答 公費を使つての検査は半田市として無理があると考えます。

ワクチン接種

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



公明党 山本半治

簡易型河川監視カメラの設置

問 毎年の様に日本列島を襲う豪雨災害で多くの犠牲者や被害が発生しています。国土交通省では、「避難を呼びかけたが避難に結びついていない」現状から、リアルタイムな画像を提供する河川監視カメラは住民が的確な避難行動を起こす重要なツールの一つとして、設置が容易で低コストな「簡易型河川監視カメラ」を開発しています。半田市にも「簡易型河川監視カメラ」を設置すべきと考えますがいかがですか。

答 河川監視カメラにつきましては、愛知県により今年度、阿久比川と十ヶ川に設置され、今後は、神戸川や稗田川への設置を要望してまいります。

問 半田市内には豪雨や高潮により河川などが氾濫する箇所が多くあります。市民の皆様の見聞きながら半田市独自で簡易型河川監視カメラを設置すべきと考えま

すがいかがですか。
答 画像による情報提供は避難判断の重要な要因となりますので、積極的に設置してまいります。



カメラ設置状況 出典 国土交通省

プラスチックごみの削減

問 海洋プラスチックごみ問題が世界的にクローズアップされている中で、全国では67の自治体が「プラごみ削減を宣言」しています。泉佐野市では大阪府と大阪府が共同宣言した「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨に賛同して「泉佐野市プラスチックごみゼロ宣言」を行い、行政が市民や事業者と協働して具体的な取組を行っているようです。半田市も実施すべきと考えますがいかがですか。

答 愛知県も宣言を行う上回るような市民を巻き込んだプラスチックごみゼロ宣言をしたいと思います。



創造みらい半田 伊藤正興

半田市の地域公共交通の現状と今後

問 ごんくろ亀崎・有脇線は、運行実績が大変厳しい結果となりましたが、見解を伺います。

答 低迷した主な原因は、1便当たりの運行時間が90分と長かったことと分析しています。本年4月にルート変更を含めた改善を行ったところですが、新型コナウイ

問 地域公共交通会議の委員でもあり、担い手でもある地域の事業者と地区路線Bについて事前に相談・検討はされましたか。

答 受託できる事業者があるのか、どの程度の経費がかかるのかを把握するため、地域事業者を含め複数の事業者にあらかじめ相談をしています。

問 今回、地域公共交通会議の委員でない他の事業者が落札しました結果を半田市はどの

ように評価していますか。

答 地産地消の観点から、市内で本拠を構える事業者に落札いただくのが望ましいところではありましたが、入札制度の根幹となる競争性、公平性が担保された入札を実施したものであり、結果は妥当性があると評価しています。

問 地区路線Bの検討が行われていた地区において、今回の岩滑地区と同じ考えで進めていきますか。

答 できるだけ地域の意見を反映した運行内容となるよう、各地域のバス会の方々と一緒に検討を進めていきます。

問 今後の地域公共交通の担い手については、どのようになっていますか。また、どんなビジョンや思いを持って取組んでいきますか。

答 交通事業者、利用者、行政など多くの関係者に支えられ育まれていくものと認識しています。将来的には地元交通事業者との連携を深める中で、多様な交通手段が整備され移動しやすくなります。



志民ネット 小出義一

日祝日保育の実施を

問 子ども子育て支援計画の策定前の調査で、就学前児童のいる家庭の20%に日祝保育のニーズがあります。実施しないのはなぜですか。

答 共働きや親族の支援の状況を確認したところ、ニーズの確認が出来ませんでした。

問 刈谷市などは同じ調査を実施し、この結果に基づいて日祝保育を行っています。違いはどこにあるのでしょうか。

答 製造業の中には、祝日を勤務日としている企業も増えており、刈谷市はそのような企業で働く方の割合が多いものと考えます。

問 保育の認定基準を押し付けているように感じますがいかがですか。
答 サービスの拡大は困難ですが、重要課題と認識しており、調査を行ない判断していきます。

問 双子や三つ子育児家庭の支援充実を
核家族が進む中、双子や三つ子のいる

家庭の乳児期の子育ては大変ご苦労をされています。どのような支援をしていますか。

答 乳児のいる家庭の訪問支援をしています。通常は2か月ですが双子や三つ子の乳児のいる家庭には、6か月まで訪問延長を行っています。

問 厚生労働省のガイドラインでは、1年程度を訪問支援の目安としています。1年に延長する考えはありますか。
答 延長は必要ですが、様々な事業を組み合わせる考えはあります。

半田市の土曜日・祝日保育ニーズ調査結果

対象5920名から1000名を抽出…67.4%が回答

土曜日	11.3%	21.0%	0.5%
ニーズ32.3%・1912人			
日・祝	78.5%	3.3%	17.4%
ニーズ20.7%・1225人			

■利用する必要はない ■ほぼ来週利用した ■月に1~2回は利用したい ■無回答
資料:半田市ホームページより作成





維新・半田市民の会 竹内 功治

新型コロナウイルス感染症に対する新たな取り組み

問 新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいる消費を回復するため公共施設内外で弁当の販売やキッチンカー等の設置は考えていますか。

答 9月に商店街連合会主催のイベントで職員駐車場を提供したように、今後も会場の提供やPR等の支援を行います。需要が落ち込んでいます。地元特産品等の支援を何か行っていますか。

答 特に需要が落ち込んでいる花卉について公共施設での展示装飾等の応援をしています。

問 特産品等を積極的に給食へ利用することや通販サイトで販売を実施してはどうですか。

答 給食への利用は入荷数や価格等で難しいです。通販サイトは県が開設しましたので出品の依頼等のPRを行います。早期の消費回復を図るためにコストが少なく済むポイント還元を実施

答 国がGOTOEat事業を行いますので、その制度を活用して頂けるよう周知に努めます。

問 エールチケットのようなプレミアム付き買物券の還元率を変えて再販等、新たに消費回復を図る考えはありますか。

答 国の制度の動向を注視しながら来年度以降に改めて検討します。

問 コロナ感染による小中学校の臨時休業は原則3日間ですが、感染状況に応じて柔軟な対応をしてはどうですか。

答 原則3日間ですが保健所と相談し日数や分散登校等を検討します。

問 市民や職員の感染を防止するため、各課の窓口リモート相談体制を整備してはどうですか。

答 生活保護課の窓口リモートを設置しますので、その利用状況から今後の展開を考えます。



創造みらい半田 岩田 玲子

重度聴覚障がい者への支援を問う

問 人工内耳とは、補聴器での装用効果が不十分である方に対する唯一の聴覚獲得法です。今後、重度聴覚障がい者への理解が進むためにも、人工内耳装用者の把握が大切と考えますがいかがですか。

答 全国的に人工内耳装用の方は増加傾向にあることを認識しており現在、身体障がい者手帳には、人工内耳に関する記載が無いため、市内の人工内耳装用の方を把握することはできておりませんが、今後は把握に努めていきます。

問 毎日使用する消耗品の電池について、現在は自己負担となっていますが、人工内耳の電池助成（使い捨て専用電池・充電電池・充電器）を行う考えはありますか。

答 人工内耳で使用する専用電池などの消耗品に対する費用助成のニーズが高まっていることは認識しています。今年度開催する半田市障がい者自立支援協議会において、日常生活用具給付事業の給付対象に加えるかどうかを前向きに協議してまいります。

問 人工内耳体外機（スピーチプロセッサ）について買い替え助成を行う考えはありますか。

答 人工内耳体外機の新機種による治療効果や社会生活の向上を期待した買い替えについては本市として助成する考えはありませんが、今後の国の動向を注視し、適切に判断してまいります。

問 重度障がい者に対する支援についての市長の考えをお聞かせください。

答 それぞれの皆さんが半田市で暮らしやすいように、多くの方の意見を聞きながら、制度を充実していきたいと考えます。



維新・半田市民の会 中川 健一

半田市にはコロナ感染症に関する職務権限が無いことが問題

問 新型コロナウイルスに関する愛知県の情報公開の姿勢には問題があります。半田市民の入退院の状況、死亡者数、どこで感染をしたか、PCR検査の陽性率などはどうなっていますか。

答 それらの業務は感染症法に基づき、保健所が行っております。情報提供の内容および方法は保健所を設置する愛知県内の判断になり、ご質問の内容については公表されていないため、半田市としては答えられません。

問 中核市である岡崎市や豊田市には市独自の保健所があります。私が質問をしたような情報は豊田市役所のホームページには公開されています。住んでいる自治体によって情報格差があり、比較すると半田市の住民サービスは劣っていると言っています。これまでものコロナ対策で、半田市が抱えた課題は何でしょうか。

答 どのような課題が出てくるかわかりませんが、保健所を通じて県と連絡をとって対応したいと思えます。

問 愛知県に目と耳をふさがる中、新型コロナウイルスの感染者に関する情報が半田市には分かりません。従って課題すら分からない、と言っている状態です。しかも周辺市町との感染者数を比較すると、半田市は98人ですが、東海市は70人、大府市25人、西尾市37人、刈谷市77人です。政治は結果責任です。周辺市町と比較して、半田市は感染症数も多く、蔓延防止に失敗しています。何が駄目であったのか、どう分析をしていますか。

答 その辺の疫学的な調査は県の保健所が行っています。半田市はその後方支援をしています。

問 半田市民を感染症から守るためには職務権限のある半田市独自の保健所を持つべきと考えますが、所見を伺います。

答 半田市が保健所を持つとなれば、相当な人員と施設整備が必要となります。当面は県の保健所と機能分担しながら感染症対策に取り組みます。

問 半田市が保健所を持つとなれば、相当な人員と施設整備が必要となります。当面は県の保健所と機能分担しながら感染症対策に取り組みます。



市政を問う 一般質問（質問議員が執筆しています）



創造みらい半田 久世孝宏

コロナ後の半田市を
描こう

問 新型コロナウイルス感染症により訪れる大きな転換を見据えて、コロナ後の半田市のまちづくりを考えていますか。

答 現在策定中の第7次総合計画においては、コロナ禍も踏まえた視点でまちづくりの方向性を位置づけ、小中学校や市役所などでのICTの活用や地域経済の復興など、新しい生活様式への対応を盛り込んでいきます。

問 半田市は住みやすい市へのアクセスがよい上、歴史や文化、自然がある等、テレワークを行う場所として適しています。分散型社会への転換、働き方改革を含むライフスタイルの転換を見据え、テレワークを推進し、それに伴うまちづくりを行ってはどうかですか。

答 テレワークにより勤務し、必要があれば本社へ短時間で移動可能な半田市にとって、サテライトオフィスの誘致は大きな可能性があります。

さらには、現在進めている市内の空き家対策の活用方法の一つとしても考えられます。新たな働き方としてのテレワークの動向を見据え、有効性を研究していきます。

社会的課題の解決のために、成果連動型契約方式の活用を

問 成果に応じて支払われる対価が変動する成果連動型民間委託契約という方式があります。医療や介護、貧困など放っておけば将来増加が予想される社会的コストを予防的に削減するために、成果連動型民間委託契約方式を活用していくべきと考えますかどうですか。

答 既に一部取組みが始まっていますが、より高い成果を得られたという評価がある一方で、成果指標やその評価方法など、対応が難しいとの意見もあります。国はこうした声を受け、令和3、4年度で、適正な成果指標や評価基準等のガイドラインを定め、普及促進を図ることとしています。半田市においても、このガイドライン、先進事例等調査研究の上、導入の可否を判断していきます。



創造みらい半田 水野尚美

半田市役所における
雇用施策

問 障がい者雇用についての考えを伺います。障がい者雇用を推進するという観点から、半田市では毎年障がい者を対象とする採用試験を行っているっており、今後も障がい者である職員が活躍しやすい職場づくり等を進め、定着を図りますか。

答 雇用に関して、どの機関とどのような連携をしていますか。また、障がい者自立支援協議会就労部会に出席するなど連携してはどうかですか。

問 過去には特別支援学校と連携し、知的障がい者を採用した実績があります。今後も新規採用職員やインターンシップを募集する際に、障がいのある学生の受入れについて案内を丁寧に行い、採用につながるよう努めると共に、就労部会とも連携しますか。

答 雇用推進には、職員の障がい者理解が必須と考えますが、研修などはどのようにしていますか。また、研修講師を

様々な障がい当事者の方に依頼してはどうですか。
答 障がいのある方の理解を深め、必要な配慮を学ぶ機会として、毎年実施しています。幅広い障がい者理解を深めるために様々な声を聞くこと、機会を作ることは大切だと思つたため、障がい当事者の方々に依頼しています。

問 課題に対し、具体策をどのように考えているのか伺います。

答 採用においては、市内の特別支援学校との連携を深め、知的障がいの方にも職場実習機会を提供することで業務に対する理解を促しています。また、職場で障がいのある職員が安心して働くことができるよう、職員研修や、職場内でのコミュニケーションなどで、差別のない職場環境づくりに努めます。

問 新型コロナウイルス感染症の状況が好転しない場合、雇用支援の次なる策をどのように考えていますか。

答 新たな雇用が必要となった場合は、より多くの方に応募してもらえるよう分かりやすい広報に努め雇用していきます。



公明党 坂井美穂

避難所における感染
症対策と災害関連死
ゼロへの取組み

問 避難所における感染症対策として準備していることは何ですか。

答 今年、県が作成したガイドラインに基づき、避難所の拡充、滞在スペースの拡大、検温や問診等による避難者の健康確認、体調不良者用の専用室配備ができるよう準備を進めています。

問 断水になった場合に屋内トイレは利用できますか。

答 建物の被害が小さく、断水だけの問題であれば、消臭・凝固剤の入った便収納袋を便座に設置することで、利用が可能となります。

問 和式トイレの場合はどうなりますか。

答 ダンボールトイレを設置する予定です。ダンボールトイレは固定できないため、要配慮者が使用するには安全性に懸念があります。また、県のガイドラインに沿った消毒ができませんが、見解をお聞かせく

ださい。
答 要配慮者には屋外に設置する障がい者用トイレを使用していただきます。ダンボールトイレは定期的に交換することになります。

問 要配慮者が、雨天や夜間などに、屋外のトイレに足を運ぶのは危険が伴います。自動ラップ式トイレ「ラップポーン」は、感染症対策ができ、災害関連死ゼロへも繋がるため、半田市でも導入していただきたいと思つています。市長の見解をお聞かせください。

答 価格と既に使用している自治体の実情を一度調査します。

問 食材が届いても炊事ができない状況にならないように、包丁やまな板、カセットコンロ、使い捨ての食器などの配備と献立立案の訓練も必要であると考えます。見解をお聞かせください。

答 半田中学校区では、炊事を含めた避難所運営訓練を行っており、マニュアルを作成しました。必要なものは配備してきます。半田中学校区の避難所運営を参考に、今後、他の避難所にも配備できるよう進めていきます。





維新・半田市民の会
加藤美幸

コロナ禍における健康二次被害とは

問 新型コロナウイルス感染症予防のため、外出自粛や三密をさける行動様式で、健康にどのような影響がありますか。

答 日々の活動量の減少で体重の増加、体力や筋力の低下、人と話す機会が減ることで精神的な不調などの相談があり健康二次被害の影響が出ています。感染が心配で医療機関を受診できないなど健康管理への影響も出ています。

問 高齢者の「フレイル」にも影響しますか。

答 加齢により心身の活力が徐々に低下した状態を「フレイル」と言い、外出自粛による身体活動や社会活動の制限が大きく影響します。

問 健康二次被害を防ぐための対策はどのようですか。

答 市報やホームページや口腔ケア、野菜料理などを紹介し、市民の健康づくりを促し予防に努めています。今後も新しい生活様式に対応した健康づくりを推進します。

健康マイレージの参加を増やすには

問 健康維持や健康増進のために個人で楽しみながら取組めるのが「はんだ健康マイレージ」のポイント制度です。様々な年代に参加してもらうには、多くの地元企業に協力を呼びかけ記念品の種類を増やし魅力ある事業にすべきと考えますが見解を伺います。

答 様々な機会を通じて幅広い企業の協賛を受けたと考えています。愛知県のスマートフォン専用アプリ「あいち健康プラス」は、日々の歩数記録や健康目標の設定、体重・血圧の記録などができ、健康管理や生活習慣の改善を支援しています。多くの自治体や企業が活用を始めていますが、半田市は導入についてどのように考えますか。

答 費用対効果を検証し導入の判断をします。



一般質問について



3月・6月・9月・12月の定例会では、議員それぞれが市政全般の中からテーマを選び、執行状況や考え方について質問を行っています。
(写真：9月定例会一般質問の様子)

QRコードを読み取って一般質問をご視聴ください。



半田市議会
YouTubeサイト

9月定例会の一般質問の録画映像を動画配信サイトYouTubeにて視聴することができます。「半田市議会YouTubeサイト」へのQRコードまたは、議員ごとに掲載しているQRコードを読み取ってください。



問 子と高齢者のついで接種はできていますか。

答 半田市として必要中々情報がありました。軽症者で自宅待機している方は何人ですか。公表されていないためお答えできません。

問 現在、感染症法により、都道府県及び保健所設置市が実施することが主体となっており、半田市が主体となって実施はできませんか。

答 現在、感染症法により、都道府県及び保健所設置市が実施することが主体となっており、半田市が主体となって実施はできません。

問 公費を使って接種は無理かと考えますか。

答 公費を使って接種は無理かと考えます。

問 これから冬にかけてインフルエンザの流行が予想されます。接種をコロナと併せて実施するかどうかを考えると、全市民に接種できるような方法を重層的に考えていきたいと考えています。

問 無症状だが、PCR検査で陽性となる方もいます。検査結果をどう活用していくかを考えています。

問 公費を使って接種は無理かと考えますか。

答 公費を使って接種は無理かと考えます。



無所属
鈴木健一

議員ごとのQRコードは、一般質問の左側に掲載しています。

市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

事業評価の対象施策をお知らせします

Q 議会で行う事業評価ってなに？

A 市役所が前年度に行った事業が、半田市民のために役にたったのか、有効性、妥当性、効率性の観点で評価し、その評価結果を翌年度の予算編成へ活かしていただくよう市長に対し、要望します。
このくり返しにより「税金の無駄使い」をチェックすることができます。

多くの施策の中から特に重要な施策を常任委員会分科会ごとに選定し、以下の9施策が対象となりました。

※令和3年2月1日号市議会だよりにて評価結果を公表します。

	個別施策名	施策内容
総務委員会	広聴活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市政に対する評価とニーズを的確に把握するため、市民意識調査、各種懇談会を定期的に実施します。 ・意見や要望に対する市政への反映状況を公表します。
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した診療体制と7対1看護体制の維持を図るとともに、災害拠点病院（地域中核災害医療センター）、地域周産期母子医療センターとしての機能を果たすため、医師、看護師などの医療従事者を確保します。 ・医師、看護師の業務負担を軽減し、職務に専念できる体制づくりを進めます。
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野、企画想像力と実践能力に加えて、市民感覚を持ち、市民協働の意識を備えた職員を育成します。 ・能力と実績が適正に評価され、職務に意欲的に取り組むことができる人事制度の確立に努めます。 ・心身ともに健康で個々の能力が十分に発揮できる環境整備を進めます。
文教厚生委員会	福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で自立した生活を送ることができるよう、適切なサービスの充実や虐待、災害時などの緊急時に対応するため、地域のネットワークを整備します。 ・医療費の助成により、安心して医療機関に受診できるよう努めます。 ・認知症になってもだれもが地域で暮らせるよう認知症の人やその家族・周囲への支援や取組みを行います。
	教育の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態に応じた、よりの確な指導を行うため、教員研修の充実を図ります。 ・わかる授業、楽しい授業づくりやカリキュラム作成にかかわる研修を行い、教員の実践力を高めます。
	総合型地域スポーツクラブの活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運営や指導を担える人材を育成し、幅広い年齢層がスポーツのほか、文化的活動にも親しめるように、スポーツクラブの活動プログラムを充実します。 ・中学校体育館に併設しているクラブハウスを拠点としたスポーツクラブ活動の環境の充実を図ります。
建設産業委員会	若者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークとの連携を強化し、ニートやフリーター等の若者の就労を支援します。 ・NPO団体とともに、若者の就労支援のための研修や相談事業などを行います。 ・高校生や大学生を対象としたヤングジョブキャラバンなどの就職支援セミナーを開催し、支援体制を強化します。
	地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコファミリー制度など、だれもがエコライフに取り組むことのできる仕組みを構築します。 ・太陽光発電装置や省エネルギー設備の設置など、環境配慮型住宅用設備の導入促進を図ります。 ・はんだエコ協定の締結、エコ事業所登録制度を活用し、事業者の自発的なエコ活動を推進します。 ・公共施設の二酸化炭素排出量削減を始め、市の事務事業での環境配慮を率先して実施します。
	J R半田駅周辺のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高い生活空間を創出するため、地域住民、商業者等とともにまちづくりを進めます。

審 議 結 果

令和2年第8回定例会(9月1日～9月30日)
()内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案61	令和2年度半田市一般会計補正予算第10号(約120万円の寄付金を、寄付者の趣旨に則り各基金に積み立てるもの・償還金、利子及び割引料で過年度障がい者自立支援国庫負担金等、前年度国、県の支出金額が確定し、返還する措置・ふるさと景観づくりの補助金など)
議案62	令和2年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第3号(特定健康診査等負担金の額が確定し、前年度超過交付となったことにより、県に返還する措置)
議案63	令和2年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第2号(介護給付費負担金及び地域支援事業交付金の額が確定し、前年度超過交付となったことにより、国等へ返還する措置)
議案64	令和2年度半田市立半田病院事業会計補正予算第2号(コロナ対策防護品購入。また院内感染防止のため、発熱者専用外来診療室を駐車スペースにプレハブで新設するもの)
議案65	半田市手数料条例の一部改正について(通知カードが廃止されることに伴う変更)
議案66	半田市知多半田駅前再開発ビル駐車場条例の一部改正について(利便性向上を高めるため、新たに定期駐車券及び1日1回駐車券の料金設定をする)
議案67	半田市知多半田駅前再開発ビル駐車場の指定管理者の指定について(指定管理者を(株)はんだ賑わいビル開発とするかどうかの審査)
議案68	アイプラザ半田の指定管理者の指定について(指定管理者を(特非)半田市観光協会にするかどうかの審査)
議案69	半田市成岩地区総合型地域スポーツクラブハウスの指定管理者の指定について(指定管理者を(特非)ソシオ成岩スポーツクラブとするかどうかの審査)
議案70	令和元年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(未処分利益剰余金を自己資本金へ組み入れるなど)
議案71	令和元年度半田市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(未処分利益剰余金を減債基金へ積み立てるなど)
議案72	半田市教育委員会の委員の任命について(令和2年9月30日任期満了に伴い、引き続き新美大氏を、同日付をもって一身上の都合により委員が退任することに伴い、新たに桂優子氏を任命するもの)
議案73	令和2年度半田市一般会計補正予算第11号(高齢者へのインフルエンザ予防接種費用を全額助成するもの)
認定1	令和元年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市黒石墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定1	令和元年度半田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定2	令和元年度半田市立半田病院事業会計決算の認定について
認定3	令和元年度半田市水道事業会計決算の認定について
認定4	令和元年度半田市下水道事業会計決算の認定について

■その他の案件

議案番号等	議案名
報告11	令和元年度半田市決算に係る健全化判断比率について
報告12	令和元年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について
報告13	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党	維新・半田市民の会	志民ネット	自民クラブ	無所属	議決結果									
		沢田清	芳金秀展	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	石川英之	榑原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸		中川健一	竹内功治	小栗佳仁	小出義一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一		
議案74	令和2年度半田市一般会計補正予算第12号（国が行うGoToキャンペーン事業の恩恵を市内事業者が享受できるように支援を行う）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	原案可決	
認定1	令和元年度半田市一般会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	認定
認定1	令和元年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定1	令和元年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
意見書案1	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書案2	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員



市民の命と暮らしを守る事が最優先と考え、反対します。

市内の感染者は123人となり、市内の感染は沈静化していません。無症状の感染者の実態がつかめていない現状では、税金を使い、感染を広げることにならないかと危惧しています。

予算額290万円ですが、他に優先すべき施策は無かったのでしょうか。

議案74号に反対

鈴木健一議員

反対討論

決算認定議案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定議案の審査が行われ、いずれも認定されました。
委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

パブリックコメント手続

問 実施した8件のうち、意見が少ないもので3件、多いものでも23件ですが、この結果をどう考えていますか。

答 市報にQRコードを載せ、HPで計画等を閲覧し易くしており、市民の皆様は関心を持って見て頂いていると考えています。また意見が少ないのは、市民の想いに沿った計画が出来ているためと考えています。

デジタルサイネージ設置事業

問 市民交流センターに視認性と情報発信力が高いデジタルサイネージ（液晶ディスプレイ）を4台設置した効果をどう考えていますか。

答 効果を定量的に示すことは難しいですが、この案内表示により会議室や店舗の場所の問い合わせは減少しています。またイベント等のポスターを印刷するコストが抑制できています。

防災行政無線維持管理事業

問 昨年度、屋外拡声器が聞こえづらい状況に対し、

既存の無線設備での防災ラジオの活用を調査、研究することとしたが、その結果はどうなりましたか。

答 専門の事業者者に相談しながら調査したところ、無線の電波が市内全域をカバーするために電波塔の改修が必要なこと、既存のラジオでは対応できずに専用受信機が必要なことなど、費用面で課題があることがわかりました。今後は費用対効果を勘案しながら、実現可能か検討します。

半田市立平田病院事業

問 看護師が外部に持ち出した患者情報書類が盗難に遭う事件が発生しました。病院職員に対し情報セキュリティの研修を複数回実施したとのことですが、物理的な防止策はどの取組みましたか。

答 看護師がメモ用紙等も含めて書類を持ち帰らないように、職場に各自のクリアケースを設置して、必ず帰宅時に入れるようにしています。

不祥事の再発防止対策

問 以前にも同様の事件が市立保育園で起きており、市民の信頼を失っています。今後、不祥事を二度と起こさ

ないよう半田市全体で仕組みの改善にどの取組みましたか。
答 今年度から総務部長に監査権限を付与し、その指導の下で総務課が各課の管理状況を実施検分するなどして、再発防止に努めています。

【総務委員会 決算審査の様子】



文教厚生委員会

高齢者能力活用推進事業

問 シルバー人材センターの会員数は483人で、減少傾向ですが、どう考えますか。

答 定年延長など社会状況の変化による影響が大きいと考えます。高齢者を就労や地域活動につなげるため業務

の周知を行いました。福祉的な業務など新たな事業展開も視野に入れて検討していきます。

特定健康診査等事業

問 生活習慣病早期発見のための特定検診受診率向上へどの取組みましたか。

答 対象は国民健康保険加入の40歳から74歳の方で、受診率は53.2%、昨年より0.3%減の9千790人でした。受診率向上の取組みは個別案内の送付や、未受診者に再度案内を実施しました。

新たな取組みとして、受診者に健康マイレージ事業で上乘せの記念品を進呈し、受診意欲の向上に努めました。
幼児2人同乗用自転車貸出事業

問 導入から10年が経過し老朽化した自転車をどのように買い替えましたか。

答 2年前から寄付金を財源に計画的に買い替えを行って行っています。パンクは自費で修理してもらっています。

学校給食調理委託事業

問 異物混入事故件数が2年連続11件でしたが、この

【文教厚生委員会 決算審査の様子】



問 状況をどのように考えますか。本来0件でなければならぬと考えており、今後は契約書の作成方法なども含めて、改善できるように検討していきます。

問 半田市としてどのような取組みを行っていますか。
答 研修等は基本的に県や知多五市管内で実施しています。半田市としては、新たに赴任した教員向けの研修「半田を知る会」や教科ごとの研究会を行っています。

教員の資質向上について

建設産業委員会

観光振興事業

問 観光振興を3つの重点分野の1つと掲げている中で、経済効果が見えづらいですが、半田市の観光振興はどのような方向性で進めていますか。
答 半田市は観光だけで経済が成り立っている市ではなく、観光振興は経済活性化の1要素だと考えています。また、観光振興を進めていく中で市民が半田市に愛着を持ってもらうことも目指すべき方向性の1つと考えています。

工業団地造成事業

問 工業団地の造成について企業庁を介して出来ない場合、半田市が直接国に農地の転用を申請し、工業団地を造成することはできますか。
答 農地の転用について、企業庁が行う場合は問題なくできますが、市が独自で行う場合は、許可基準を満たさかつ大臣協議となり、時間がかかるうえ、許可が下りる保証がないため、市が独自で行う考えはありません。今後、

問 工業団地の造成にあたっては、迅速に企業庁に事業化の決断をしてもらえよう取組んでいきます。
問 臭気軽減のために、どのような取組みを行いますか。
答 家畜糞尿乾燥過程における水分量が大きく関わることを踏まえて、昨年度は全畜産施設に対して、3回の現地調査を実施し、臭気及び含水率を測定した結果、市の注意喚起基準及び悪臭防止法の規制基準を超えた畜産農家に對し、指導、助言を行いました。

畜産臭気監視事業

問 市営墓地の使用不明区画について、令和2年3月31日現在、1664区画あるという事ですが、課題解決に向けてどのように取組みましたか。
答 墓地への置手紙の配付は、令和元年度末までに一通り完了させることを目標として調査を進めてきました。しかし、この方法ですべての利用者を特定することは難しいと考えています。今後は別の

墓地管理事業

問 市長が2050年CO₂排出量実質ゼロを目指すと言われた中で、どのように取組みましたか。
答 民間のバイオマス発電事業に対する支援等、再生可能エネルギーの普及啓発に取組みました。今後も「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、各種の取組みを打ち出していきます。

地球温暖化対策事業

問 市長が2050年CO₂排出量実質ゼロを目指すと言われた中で、どのように取組みましたか。
答 民間のバイオマス発電事業に対する支援等、再生可能エネルギーの普及啓発に取組みました。今後も「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、各種の取組みを打ち出していきます。

【建設産業委員会 決算審査の様子】



決算審査に係る 反対討論

中川健一議員

赤レンガ観光拠点化事業は年間約6千700万円もの半田市民の税金を使います。しかも費用対効果も説明できず、令和元年度の貸部屋利用率はわずか22.2%のことです。間違った税金の使い方です。赤レンガ建物は、図書館や子育て支援センターとして半田市民が活用をするか、民間事業者者に年額2千400万円で貸し出すように変更を求めます。

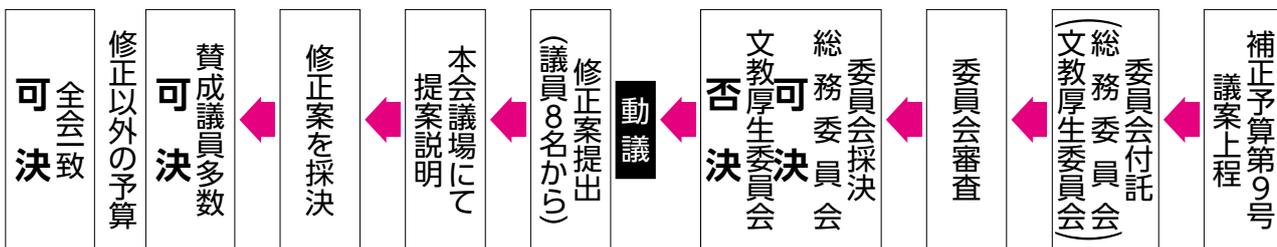
鈴木健一議員

反対理由としていくつかを述べます。1点目はリニア中央新幹線愛知県期成同盟負担金ですが、現状静岡県と長野県において、地下水に多大な影響を与えたとして知事が工事を止めています。次に国民にとって、メリツトが少なく、個人情報保護の信頼性が薄い個人番号交付事業です。積極的な取得を進めるべきでは無いと考えます。

令和2年度 一般会計補正予算第9号の『修正案』を可決しました

第7回臨時会（8月6日開催）において審議された、議案第59号「令和2年度半田市一般会計補正予算第9号」については、文教厚生委員会で否決すべきものとした後、本会議で8人の議員から修正動議が提出され、審議の結果、修正案は賛成多数で可決となりました。

審議の流れ



原案（要約）

「新生児臨時特別給付金給付事業」において、子育て世帯を支援するため、特別定額給付金の基準日の本年4月28日以降に生まれた新生児を養育する保護者に対し、特別定額給付金の給付額と同額となる、一人あたり10万円を支給するとともに、出産祝品として、おむつケーキ（1万円相当）を贈呈するものです。

修正案の趣旨

少子化の今、出産に対しお祝いの気持ちは当然あります。しかし特別定額給付金の基準日内の新生児と、基準日以後から今年度末までの新生児に1万円相当の支給差があることは、公平性の観点から納得できません。

また、市が祝品として予定していた「おむつケーキ」について、贈り物としては見栄えは良いですがニーズに合っているかは疑問があり、メーカーも限定ということで、赤ちゃんへの適合や母親のニーズをほぼ把握せず選択したものです。

以上2つの理由により、出産祝品相当額を一旦減額し、受取側のニーズに合ったよりよい再提案をいただきたく、ここに修正案を提出します。

修正案に対する討論

反対

山田清一議員

コロナ禍に、新生児臨時特別給付金の10万円にプラスして出産祝品を贈り対象者へメールを送る気持ちを形にした事業です。プラスされた「おむつケーキ」については、市独自にお祝いの気持ちをこめて贈呈するという事であり、半田市としての思いに賛同しているため修正案に反対です。

賛成

水野尚美議員

新型コロナウイルス感染症拡大により不安な気持ちで出産を控え、大変な思いをして出産された母親に贈る祝品は、市が選択した一定の物ではなく、オムツの種類やサイズ数量など母親が自由に選べる物を贈る気配りは必要です。また、特別定額給付金の基準日内に出産された母親にも公平に祝品を贈っていたいただきたいと考え、修正案に賛成します。

● 第27回 議会報告会のYouTube配信について ●

10月6日(火) 19:00からアイプラザ半田(小ホール)にて開催を予定しておりましたが、第27回 議会報告会「市民と議会のつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、開催方法を下記のとおり変更させていただきました。

【変更内容】

- 第1部 常任委員会ごとの本会議報告はYouTubeにて動画配信いたします。
- 第2部 意見交換会については、次回以降に延期いたします。

【配信時期】

11月上旬ごろから配信予定

【YouTubeで配信する内容】

- 総務委員会 半田市議会の議員の議員報酬等の特例について
令和2年度に交付する政務活動費の限度額の特例について
広聴事業について
- 文教厚生委員会 GIGAスクール構想に向けた取組みについて2件
- 建設産業委員会 観光費について
工業団地造成事業について
墓地管理事業について



半田市議会
議会報告会へ

今後の本会議の予定

12月定例会の予定 12月1日(火)から12月11日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

あとがき

議会だよりは、執筆・構成など議員の手づくりでお届けしています。年5回の発行で、部数は毎号3万9千800部です。発行部数の割に、反響がいまひとつ。議会ホームページからもご覧いただけます。

現在は新たな広報のあり方として、ホームページのリニューアルや議会のライブ中継などのプロジェクトチームを編成して検討しています。結果をご期待ください。議会をより身近に感じて頂ければ幸いです。

広報委員会

委員長 山本 半治
副委員長 嶋崎 昌弘
委員 小出義一／鈴木幸彦
水野尚美／中川健一
榊原伸行

編集・発行 半田市議会

〒475-8666

半田市東洋町2-1

TEL 0569-84-0694

FAX 0569-24-7185

E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ